自然保護委員会　お便り

夏号　２０２４

Home - 神奈川県山岳連盟（kanagawagakuren.gr.jp）

e-mail：shizen@kanagawa-gakuren.gr.jp

発行　自然保護委員会

【活動報告　環境登山パート１登山】二の塔登山　作業　ケヤマハンノキの幼樹ネット・ポール撤去

５月２６日（日）曇り　参加者８名（男５女３）
コース：菩提峠駐車場 (9:30) →ヤマトタケルの足跡→ケヤマハンノキの幼樹ネット・ポールの撤去→二の塔・昼食（12:00）一植栽地西面ケヤマハンノキの幼樹ネット・ポール撤去→植栽地西面観察→二の塔尾根分岐→ヤマトタケルの足跡→ネットのみ荷下ろし活動→菩提峠（14:00）●行動時間　４時間半

1. 二の塔植栽地の点検、作業を含めての観察会を行った。菩提峠を出発し、二の塔往復コースとした。内容は、二の塔、日本武尊の足跡周辺に新たに植樹をした植栽の点検と、トリカルネットの点検と補修作業を行った。また、幼樹ネットとポールの撤去を行った。
2. 二の塔で昼食をとった後、二の塔尾根・西面の植栽地に向かい、上部植栽地の幼樹ネットとポールを外した。土砂流れした斜面もあったが、植栽のケヤマハンノキはよく育っていた。周りは、馬酔木他の自然林に囲まれていた。西面下部の植栽地は多くの萱や草木に囲まれていた。ケヤマハンノキは、高さ２メートル以上となり幹も太く、幼樹ネットの機能はすでに果たしていた。今回は点検のみとした。今後の作業の課題としたい。ご指導いただいている**『丹沢大山自然再生委員会』（後援）**に報告していく。
3. 二の塔、日本武尊の足跡に戻り下山した。登山道周辺の整備林は、森林組合により間伐されていた。登山道周辺の林床は明るく、風通しもよかった。アザミや、マツカゼ草が多く咲き、フジアザミの株も見られた。間伐の木の脇に、ギンランが、咲いていた。テンナンショウが登山道の脇にあった。ヤマツツジは、登山道下は終わりかけ、上部に向かいよく咲く木々があった。マルハナウツギ、ツクバネウツギがあった。サンショウの木にハンショウヅルがあった。※丹沢・絶滅危惧種　ミミガタテンナンショウ（サトイモ科）、コアツモリソウ、ヒカゲツツジ。

4. 登山道は石の多い急斜面(トラロープあり)と、土の急斜面が一か所ずつある。注意を払い登下降した。急斜面は登山者によって回避の脇道ができていた。環境省・自然公園指導員の報告に提出したく思う。登山道を塞いでいた整備林の倒木は、以前よりは、歩きやすく通れた。幼樹ネットについては、産業廃棄物として処分した。ポールについては残置した。

【活動報告　水質調査２０２４　身近な水環境全国一斉調査】

６月２日（日）曇り　参加者８名（男７女１）

- 集合、６月２日（日）8:00、本厚木駅南口ロータリー。午前、自動車に分乗して各エリアで採水

●『あつぎ里山コース』　千頭橋、荻野橋、宮の御所橋、庫裡橋、中川橋、日向川橋、定点観地点。

1. 前日は、雨台風が関東を抜けて去っていった朝。河川の増水なども気になる中、本厚木に集合した。定点観測地に行って作業可能か決めることとした。小鮎川、千頭橋は、多少の濁りもある中であったが、安全にバケツに水を汲んだ。去年、定点観測をした秦野地区の観測はやめ、皆で厚木地区のデータをとることとした。他、同様に定点地観測をした。定点観測をしながら、一点気になったことがあった。上流の中川橋での水は、濁りがなかったのだが、午後の検査では数値は高く、皆で考察した。宮ケ瀬ダムより上流の沢とつながる川となる。
2. 午後は昼食後、COD 検査を皆で経験した。分かち合いの時間をもちながら、神奈川での自然保護活動をしている方々のドキュメンタリー映画を観た。今年度も、厚木市山岳協会の方々に、大いにお世話になり、地の利のあるコース取りであつぎ里山コースを楽しんだ。
    - 『流れ』愛川町を流れる中津川河原に花をよみがえらせたおじいさんのお話
    - 『ギフチョウと生きる郷』藤野町篠原・牧馬地区の記録
      文部科学省特別選定作品　能勢広/村上浩康　　能勢広/矢島仁

水質調査などの『環境調査』データ報告は、環境保全の活動に、自然の現象が、目に見える形での方法となり、大いに役立ちます。ＪＭＳＣＡ自然保護委員会は、各地方岳連での『身近な水環境全国一斉調査』を推奨しており、都岳連は、埼玉岳連と、高尾山周辺の水質調査をしているそうです。
また、ＪＭＳＣＡ登山月報の自然保護委員会のページでは、『●●岳連・自然保護委員会の SDGs な活動』という題で各地方岳連の活動を連載しています。昨今は、自然保護ということを様々な視点から、見ていくようになったと感じています。また、それらを共有し理解を深めてゆくことができます。

【活動報告　登山道維持管理整備活動】６月、７月、８月

●６月９日　（日）曇り　参加者１４名　（男１２女２）自然保護委員会委員、岳連個人会員、山岳会会員、ＳＣ丹沢秦野（スカイランニングチーム）、有志参加者等々のみなさん。６月の活動は、岳の台とイタツミ尾根線の草刈りを行った。

●７月７日（日）晴れ　１３名（男 11 女２）自然保護委員会委員、岳連個人会員、山岳会会員、ＳＣ丹沢秦野、有志参加者等々のみなさん。７月の活動は、岳の台の登山道整備を行った。

●8 月３日（土）曇り　参加者８名（男７女２）自然保護委員会委員、山岳会会員、菩提峠駐車場、岳の台登山道の草刈りをした。菩提峠の草原をトンボや、蝶が舞っていた。

ＳＣ丹沢秦野は、岳連・自然保護委員会協力団体です。
HOME - SC 丹沢秦野（sctanzawahadano.com）

【神奈川県山岳連盟創立７０周年記念・里山森作り・植樹祭】
　５月１８日（土）　晴れ　場所：蓑毛～ヤビツ峠県道７０号線途中、浅間神社裏　里山森作り会場
　●樹木を植えて花壇作りを行った。公益財団法人小田急財団から樹木贈呈。東西田原共有林組合、小田急財団協賛。活動は、後日、秦野タウンニュースに記事が掲載されました。
　はだの里山ふれあいの森づくり事業は、人々が自然をふれあいや生きがいの場として活用、森林などの理解の高揚、これらを目的としています。岳連は秦野市と協定を結んでこの活動を行っています。

◆◇◆ ＪＭＳＣＡ自然保護委員会・研修会◆◇◆

＝三ツ峠フィールド研修＝

6 月 15-16　三ツ峠自然保護活動の研修は、東京都、千葉県、神奈川県、山梨県の山岳連盟が参加し、有意義に終了した。三ツ峠山荘のオーナー中村さんからレクチャーがあり、アツモリソウの保護活動、テンニンソウの除去作業を行った。16 日、山梨岳連、JAC の方々と合流。山梨県は**『山梨山岳レンジャー』**という括りで活動している。環境省の自然公園指導員、JMSCA 自然保護指導員も一緒に保護活動をやっているとのこと。集まったメンバーで、若い方々も含め自己紹介などした。山梨からは、南アルプスの高山植物のことや絶滅危惧種のことを登山講座や、学校などで子供に伝えていくとのお話があった。

神奈川からは、２名参加した。私自身は、三つ峠フィールド研修は、昨年に続き参加させていただいた。数十年前、そこは、アツモリソウと花々の草原だったそうだ。研修では、『アツモリソウ』という一種の花を守るために、増えてしまったテンニンソウの除去をした。シカの食害の防護柵をいくつも見た。一方では、アツモリソウの傍らに、同じ環境で支えあって咲く白い花も見た。アツモリソウは、『虫媒花』と言って、虫を誘引するために美しく目立つ姿で強い香りを放つそうだ。絶滅危惧の一種『アツモリソウ』の保護活動をした。そこには、動物、昆虫、植物それぞれが、行き来しあう環境があるとつくづく感じた。健全な生態系とは、どういう環境なのでしょうか。しらびその木々を見上げながら思った。山を創っている森林、草原、自然は、この夏、どんな美しい色でしょうか。緑色はどのように見えるでしょうか？

◇◆◇お知らせ◇◆◇　夏は各地でシンポジウムがあります。自然保護の研修にご活用ください。
神奈川開催やウエブ参加もあります。　8 月 24 日　　8 月 23,24,25.　　9 月 11 日
第 54 回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム - 神奈川県ホームページ（pref.kanagawa.jp）

「第 2 回全国山岳保全サミット in 北杜」開催のお知らせ（南アルプスユネスコエコパーク登録 10 周年事業） - 山梨県北杜市公式サイト（city.hokuto.yamanashi.jp）

【参加募集】自然保護憲章 50 周年記念シンポジウム - 日本自然保護協会オフィシャルサイト（nacsj.or.jp）

◆◇◆コラム◆◇◆

昨今の自然保護の考え方『ネイチャーポジティブ』とは

「ネイチャーポジティブ（自然再興）」とは、自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させることを意味します。2030 年までに「ネイチャーポジティブ（自然再興）」を実現することが、2050 年ビジョンの達成に向けた短期目標です。「2030 年ネイチャーポジティブ（自然再興）」の実現に向けて、人類存続の基盤としての健全な生態系を確保し、自然の恵みを維持し回復させ、自然資本を守り活かす社会経済活動を広げるために、これまでの生物多様性保全施策に加えて、気候変動対策や資源循環等の様々な分野の施策と連携し取り組みます。（参考文献：環境省）

自然保護委員会の活動です。ご参加ください。秋から !!

■環境登山パート２　二の塔植栽地　１０月２０日（日）
　表尾根・二の塔登山と植栽地の作業。
■里山森づくり　１１月か、１２月（予定）　場所：蓑毛～ヤビツ峠県道７０号線途中、浅間神社裏　里山森づくり会場
■第１２回山の自然セミナー　２月２２日　２３日
※詳細については、神奈川県山岳連盟・自然保護委員会にお問い合わせください。■ＪＭＳＣＡ・山岳自然の集い（全国）　基調講演　座学研修１１月２３日。エクスカーション（野外活動、登山）24 日。　会場：埼玉県民活動センター（予定）■自然保護指導員研修会１月２６日（予定）ＪＭＳＣＡ主催、東京都山岳連盟主管。　※詳細についてはＪＭＳＣＡウエブサイト等ご確認ください。

編集後記　夏の始まり、７月に、南アルプスを登山しました。北岳だけに咲く『キタダケソウ』。それは白い花でした。立ち止まって、その一凛は、とても美しく。そして、はぁはぁ息をあげながら歩く。斜面に段々となって咲く花々は、まるで花束の様でした。ハイジのように、花畑に寝そべってみたいと思いました。たくさんの花の香りを感じられたらなあと思いました。それは、遠い昔にあったし、地球の向こうのはるかな国にもあると思いました。私たちの手で、きっと、ふるさとの山や、わたしたちの未来にも。伊藤篤子
丹沢大山自然再生委員会　公式サイト　-（tanzawasaisei.jp）
はだの里山保全再生活動団体等連絡協議会 ｜ 秦野市役所（city.hadano.kanagawa.jp）
山岳環境 ｜JMSCA 公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会（jma-sangaku.or.jp）

神奈川県山岳連盟・自然保護委員会